宿泊施設等と連携したデータ収集･分析事業について

資料１

１．DMOに求められる役割

①観光地域づくりを行うことについて、多様な関係者との合意形成
②各種データ等の継続的な収集・分析、データに基づく戦略の策定、ＫＰＩの設定・ＰＤＣＡサイクルの確立
③地域の観光資源の磨き上げや交通アクセスの整備、多言語表記等の受入環境の整備等の地域の着地整備への取組の推進
④観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組みづくり、プロモーションの実施

※観光庁：観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン（R2.4.15）

○現状の課題

・連盟では、HP「ぎふの旅ガイド」以外の独自データの収集・分析ができていない
・多くの地域DMOも独自データの収集・分析が課題で、戦略に活かせていない

２．岐阜県観光連盟が目指す取り組み

（１）**岐阜県内の宿泊者データを収集・分析**できる独自の体制構築に取り組み、DMOの役割である
『データに基づく戦略（ブランディング）の策定』、『ＫＰＩの設定』、『ＰＤＣＡサイクルの展開』を実施する。

（２）地域DMO等のデータ収集・分析を支援する。

３．事業概要

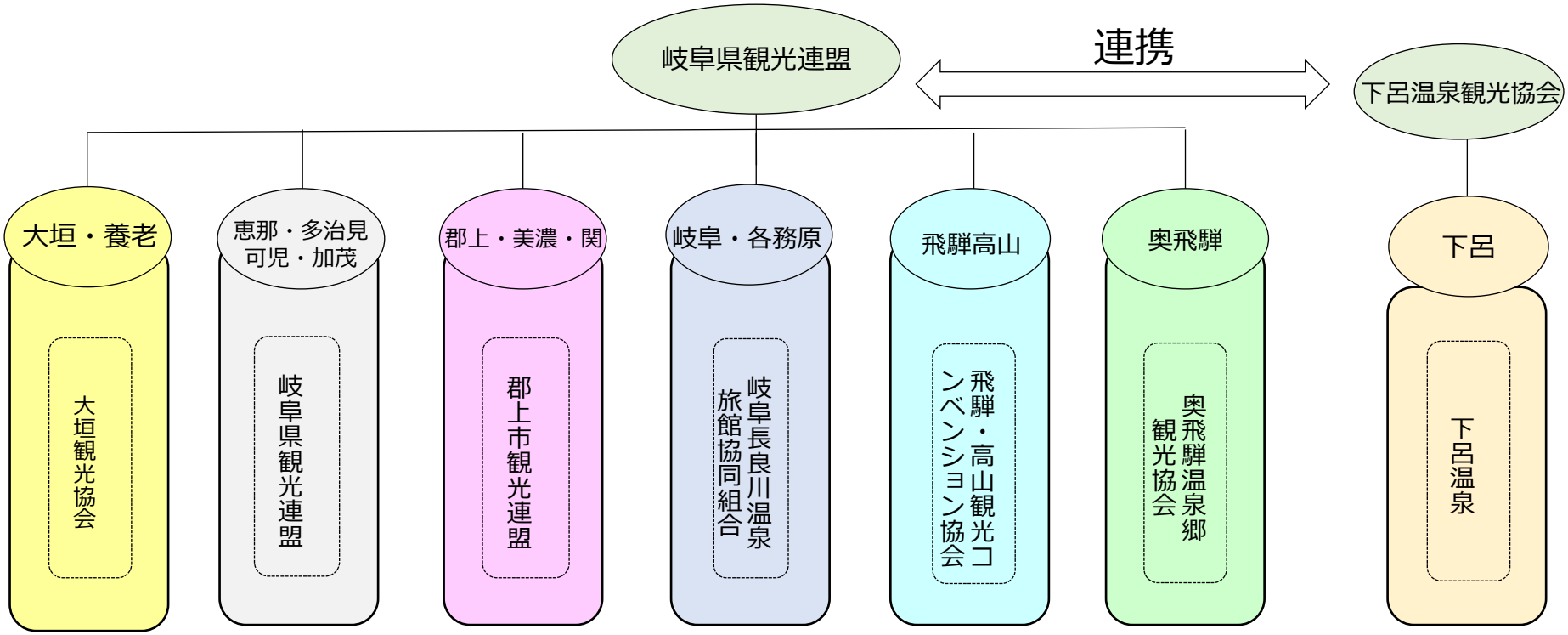
観光庁が実施した「観光地域づくり法人による宿泊施設等と連携したデータ収集・分析事業」で構築した、宿泊データ分析システムを活用し、地域DMO等と連携しながら宿泊データを収集・分析する。

メリット

宿泊事業者
・自施設のデータを簡単にグラフ化でき、詳細な分析が可能になるとともに、地域の傾向と比較することで、強みや弱みを客観的に把握できる。
・毎月のデータ集計や報告事務の省力化につながる。

観光協会(DMO)
・地域を訪れる観光客の属性や競合地域との違いを明確にでき、戦略に生かすことができる。

宿泊施設等と連携したデータ収集・分析事業イメージ



※地域DMO等と連携し、データ収集を進める

※地域DMO等のないエリアは、観光連盟会員の宿泊施設と連携する

<閲覧できるデータについて>

※各施設の宿泊データは、自施設のみ閲覧が可能であり、他施設やDMO等からは閲覧できない仕組み

	宿泊事業者 （旅館・ホテル）	地域DMO等	岐阜県 岐阜県観光連盟
各施設の宿泊データ	○ ※自施設のみ	×	×
地域の宿泊データ	○ ※自地域のみ	○ ※自地域のみ	○
県全体の宿泊データ	○	○	○